

横浜国立大学 大学院 副専攻プログラム

地域創造科目

Yokohama National University Graduate sub-major program
Creative education program about local problems

シラバス 2020
2020 Syllabus

YOKOHAMA

オリエンテーション (予定)

* 状況によって開催を変更する場合がありますので、下記 HP・QR サイトで情報を確認してから参加下さい。
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>

4/16(Thu) 12:10-12:50
建築学棟 (N5-3 棟)
1F 大会議室



副専攻プログラムの修了証

"Certificate of Completion" of the sub-major program



修了証は修了式の際に授与されます。
"Certificate of Completion" be awarded at the graduation ceremony.

ブックレット

HP (<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>)からダウンロードできます。

地域創造論 II

～ ローカルからの発想が日本を変える、世界を変える。～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2015年から2017年度のテーマは、「ローカルからの発想が日本を変える、世界を変える。」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。



日本とスウェーデンの比較にみる福祉と地方財政 伊集守直 / まちづくりと自然環境 小池文人 / 産業構造の変化と外国人労働環境をめぐって 山崎圭一 / 里海：海洋国日本の可能性～里海資源論の可能性 中村由行 / 政策形成へのアプローチ 小池治 / 地域を資源化する建築的デザインとコンセプト 宮城島崇人 / 地方と都市-ローカルシステム 新ライフスタイル 赤木徳頭 / 3D プリンターが拓く次世代ものづくり 丸尾昭二 / 経済的視点で地域を捉える 氏川恵次 / ファブ・クリエイティブ都市論 野原卓 / 里山の保全と活用～神奈川の取組を中心に～ 小池治 / 大学と地域連携 高見沢実 / 多文化共生—大学と地域の幸福な付き合い方の条件 佐藤峰 / 地域と地域との関係-現在・今後 梅野匡俊 / 建築家と地域連携 西田司・伊藤 彩良 / 1000年に1度の災害を経て南三陸が選んだ、これから 安藤 仁美・浅野 拓也

『地域創造科目』の概要

全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

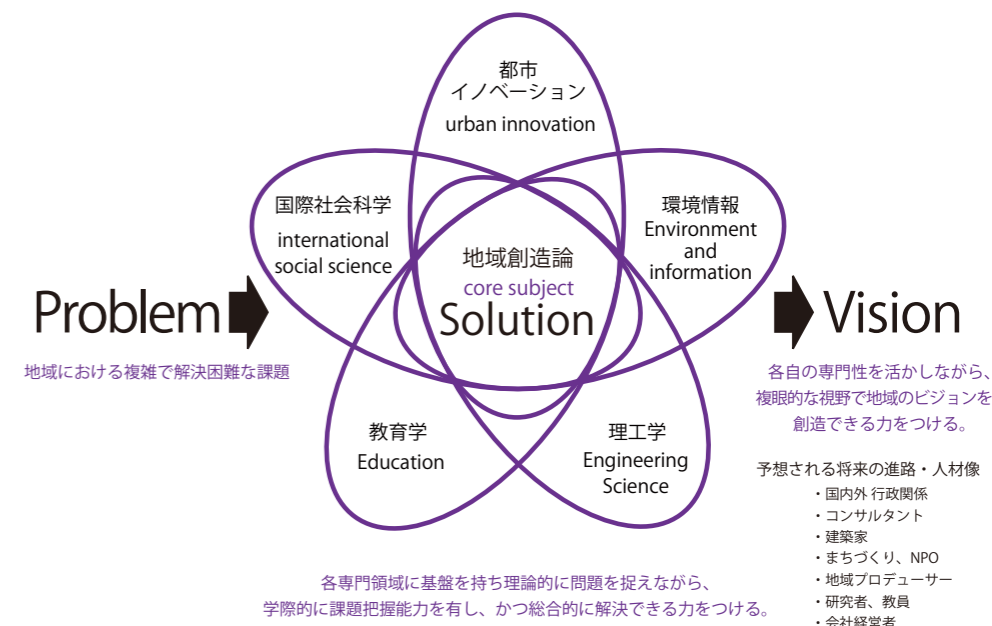
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

* 副専攻プログラムとは：

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

* About sub-major program:

Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



地域における複雑で解決困難な課題

各々の専門性を活かしながら、複眼的な視野で地域のビジョンを創造できる力をつける。

- 予想される将来の進路・人材像
- ・国内外 行政関係
 - ・コンサルタント
 - ・建築家
 - ・まちづくり、NPO
 - ・地域プロデューサー
 - ・研究者、教員
 - ・会社経営者

各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながら、学際的に課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できる力をつける。

複雑で解決困難な地域課題を題材に

各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

This program trains students to find and develop their own specialties in the local subject in which solutions are complicated and difficult.

横浜国立大学 地域実践教育研究センター
YNU Global-Local Education and Research Center



問合せ・連絡先：
地域実践教育研究センター
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
横浜国立大学 経済学部1号館 406号室
TEL&FAX : 045-339-3579
chiki-ct@ynu.ac.jp
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>



「履修申請の流れ」

「オリエンテーション」 4月16日(木) 昼休み(予定)
 場所: 建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室

地域創造科目の説明・相談を行います。
 履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。

*状況によって開催を変更する場合がありますので、下記HP・QRサイトで情報を確認してから参加下さい。
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>

「履修登録」

- 必修コア科目「地域創造論」
- 関連科目(各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*)

*注: 関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。(ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。(履修案内等で確認してください。))

「地域創造科目 参画登録申請書」
 申請書×切: 4月13~24日 or 10月5~23日

☆副専攻プログラムとして受講し、修了証を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請書」は下記の地域実践センターのHPからダウンロードして下さい。オリエンテーションの際にも配布は致します。
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>

提出先: 地域実践教育研究センター(経済学部1号館 406室)あるいは chiki-ct@ynu.ac.jpへ提出して下さい。

「地域創造科目」8単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請書」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行なわれます。

修了要件: ①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。

必修コア科目	+	関連科目	→	修了証
地域創造論 1科目2単位 *重複不可		専門型関連科目 2科目4単位以上		副専攻プログラム 地域創造
		実践型関連科目 1科目2単位以上		

・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます。ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません。

★都市イノベーション学府の学生: 修了必要単位 30単位+2単位(地域創造論)=計32単位の取得が必要です。

☆都市イノベーション学府以外の学生: 各学府・研究科の修了必要単位の中に地域創造論2単位を含めてください。

「修了証」

・副専攻の修了証は「参画登録申請書」を申請した方を対象に、修了証が発行されます。

・必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。

・短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに副専攻事務局にお知らせください。

・副専攻の修了証は修了式に授与されます。

・成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム(地域創造)修了」と記載されます。

・実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、レポートの提出が必要です。

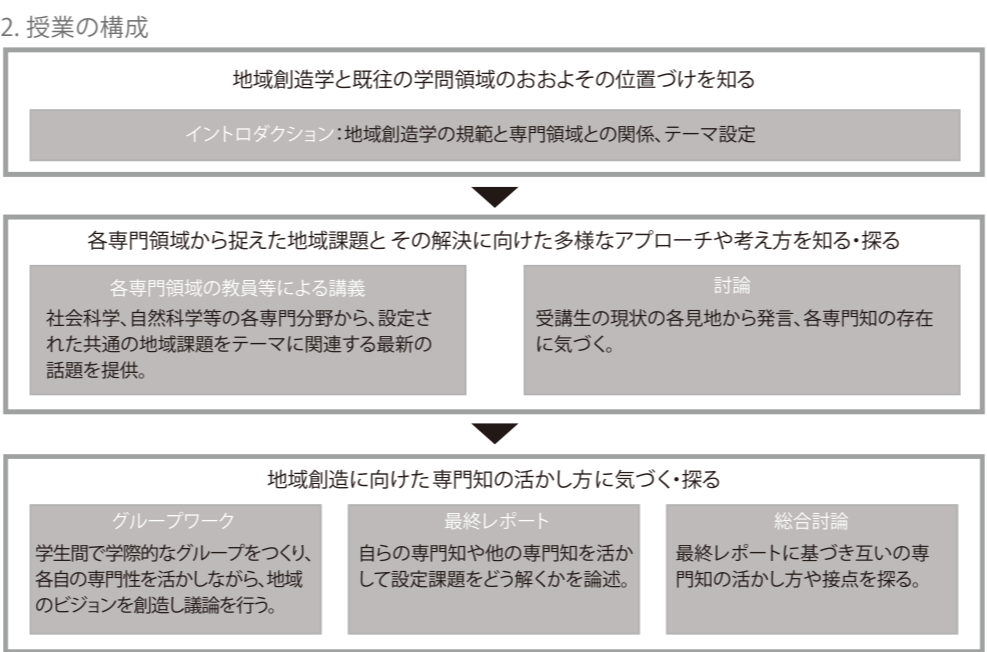
レポートの提出 〆切: 8/28(9月修了の場合) 2/19(3月修了の場合)

*提出先: 地域実践センター(chiki-ct@ynu.ac.jp)

コア科目「地域創造論」

*秋学期に開講
 月曜日 4限
 場所: 建築棟 8F スタジオ

1. 授業の目的
 複雑で解決困難な地域課題を創造的に解決する方法を開拓する。
 地域創造学を既往の学問領域の中で位置づけたうえ、本講義の構成・内容、およびグループワークの方法等につき解説する。これを受けて、各専門領域から現代の地域課題をどうとらえているか、また、その解決に向けたアプローチや考え方はいかなるものか等につき、事例や先進的試み等を織り交ぜながら講義する。その後、専門の違う者同士でグループを組み、与えられた地域課題をめぐって現地スタディー、データ分析、ディスカッション等を行う。成果は最終回に発表し、総合討議を行なう。



講義の様子

グループワークの様子

※これまでの講義内容やグループワークの様子は「地域創造論」のブログで紹介されています。
<http://chiikisozo.blogspot.jp> 検索 **地域創造論**

「地域創造科目」一覧 *今年度は開講しないが地域創造科目の対象となっている授業です。

部局	単位数	時間割コード	科目名	教員名	開講学期	曜日	時限	教室	提供形態	備考
都市	2	RA00009	地域・都市環境管理論	佐土原	-	-	-	-	① 専	隔年開講R2年度は開講無し
	2	RA00033	持続型集住計画論	藤岡	-	-	-	-	① 専	隔年開講R2年度は開講無し
国社	2	PC12520	倒産・執行法研究 I	西川					① 専	隔年開講R2年度は開講無し
	2	PC12009	民事法研究V	西川					① 専	隔年開講R2年度は開講無し
教育	2	PC11525	開発協力論研究Ⅲ	小林					① 専	隔年開講R2年度は開講無し
	2	AWE3058	人文地理学講義Ⅱ	池口					① 専	隔年開講R2年度は開講無し
教育	2	AWE3062	地理学野外実習Ⅱ	池口					② 実	学部又は大学院にて地理学に関する講義を履修済みとのこと隔年開講R2年度は開講無し
	2	AWE2026	社会科・公民科教授法講義	重松					① 専	隔年開講R2年度は開講無し
理工学	2	AWE2028	社会科・公民科教授法演習	重松					① 実	隔年開講R2年度は開講無し
	2	AWE2083	社会思想論講義Ⅰ	山本(泰)					① 専	隔年開講R2年度は開講無し
教育	2	AWE3157	体育社会学講義Ⅰ	海老原					① 専	隔年開講R2年度は開講無し

「地域創造科目」一覧

・カテゴリ: 必=必修科目 / 専=専門型関連科目 / 実=実践型関連科目
 ・提供形態: ①すべての大学院生が履修可能な授業科目 / ②すべての大学院生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目 / ③所属大学院生のみが履修可能な授業科目

部局	単位数	時間割コード	科目名	教員名	開講学期	曜日	時限	教室	提供形態	備考	
大学院(大学院教育科目)	2	9GC2101 R000060(都市)	地域創造論	高見沢・佐土原	秋	月	4	建築8F	① 必		
	2	9GC1101	統合的海洋管理学Ⅰ	村井・中村ほか	春	月	4	環境305	① 専	学部4年次履修可	
	2	9GC1102	統合的海洋管理学Ⅱ	村井・中村ほか	秋	月	4	環境305	① 専		
	2	9GC1201	沿岸域管理の法制度	加々美	春	集中		法学研究棟101	① 専		
	2	9GC1202	海洋政策と法制特論	中原	秋	水	2	経済1-103	① 専		
	都市イノベーション	2	RC00041	都市居住環境論	中村・野原	秋	水	1	工A-302	① 専	
		2	RC00061	越境社会と地域	長谷川(健)	秋	木	5	国際教育104	① 専	
		2	RC00051	グリーンビルディング・コミュニティ計画論	佐土原ほか	秋	木(隔週)	5~6	工A-101	③ 専	
		2	RB00031	地域計画論	松行	春	水	2	工A-303	① 専	R2年度以降入学者対象(旧科目:RB000214)
		2	RB00204	途上地域発展論	藤掛	春	火	3	教1-319	① 専	担当教員 奇数年:佐藤、偶数年:藤掛
2		RB00214	地域計画論	松行	秋	金	4	大研棟502	① 専	H21/20年度以降入学者対象(旧科目:RB00031)	
2		RB00015	都市基盤政策論	中村(文)	春	金	1	環1-306	① 専		
2		RPSJ205	環境都市デザインスタジオS	野原ほか	春	火	3~4	建築8F	③ 実		
2		RPSJ206	環境都市デザインスタジオF	野原ほか	春	火	3~4	建築8F	③ 実		
2		RPSJ203	建築理論スタジオS	大野ほか	春	火	3~4	建築8F	③ 実		
国際社会科学	2	PAB4012	地方財政学	伊集	春	金	2	経済306ゼミ室	① 専		
	2	PAB4019	農業政策特論	池島	秋	火	2	経済305ゼミ室	① 専		
	2	PC11026	行政学研究	小池	秋	火	2	N4-5棟101	① 専	隔年開講R2年度は開講無し	
	2	PC12026	基本社会保障法研究	関	秋	火	2	N4-2棟103	① 専		
	2	PC12027	社会保障法研究Ⅰ	関	春	木	2	N4-5棟201	① 専		
	2	PB22006	生態会計特論	大森	春	木	3	C502	③ 専	令和2年度 英語で実施	
	2	PB23005	オペレーション・マネジメント特論	松井	春	木	2	C505	③ 専	令和2年度 英語で実施	
	2	PC11023	開発協力論研究Ⅰ	小林	春	木	3	N4-5棟102	① 専		
	2	PC11024	開発協力論研究Ⅱ	小林	秋	木	5	N4-5棟101	① 専		
	2		演習Ⅰa(対象は特定教員の6クラス)	各教員					③ 実	大学の許可する学生のみ受講可	
環境情報	1	H320094	生態リスクと社会的合意	松田					① 専		
	1	H320331	環境法Ⅰ	及川					① 専		
	1	H320072	ユネスコエコパークや関連制度を活用した環境共生型地域の創出	酒井					① 専	H29年度以前入学者は履修不可	
	1	H320115	外来生物問題を解決するモデルと社会	小池					① 専		
	1	H220174	地域発展政策Ⅰ	遠藤					① 専	H29年度以前入学者「EM57120地域イノベーション論」を履修すること	
	1	H220185	地域発展政策Ⅱ	遠藤					① 専		
	1	H220011	ライフサイクルアセスメントⅠ	本藤					① 専	H29年度以前入学者は「EM57119ライフサイクルアセスメントと持続型社会」を履修すること	
	1	H220052	ライフサイクルアセスメントⅡ	本藤					① 専		
	1	H220074	環境イノベーション論Ⅰ	鳴海					① 専	H29年度以前入学者「EM57118イノベーションと環境マネジメント」を履修すること	
	1	H220085	環境イノベーション論Ⅱ	鳴海					① 専	(H29年度以前入学者は「EM57115共生社会創生論」を履修すること)	
教育	2	AWE3057	人文地理学講義Ⅰ	池口	春	木	6	3研813	① 専		
	2	AWE3059	人文地理学演習Ⅰ	池口	秋	木	6	3研813	① 実		
理工学	2	NB20151	リスク分析論	陶山・鎌田	春	火	3	理工C-102	① 専		
	2	NB10031	触媒化学	窪田	春	木	5	理工A-108	③ 専		
その他	(2)		独自に参画する実践性の高い活動						① 実	※1	

※1: 独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラム上のみ独自認定(2単位相当)する。ただし、正規単位ではない。